全ては健康を願う人々のために
共創未来グループ

2019年3月期 第2四半期決算説明会

2018年11月13日（火）

東邦ホールディングス株式会社

【注記】
本資料に掲載されている東邦ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略、想定等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。
これらの情報は、現在入手可能な情報から東邦ホールディングス株式会社の経営陣の判断に基づいて作成されております。
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。
本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。また、資料に含まれる医薬品に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

本日の内容

1. 2019年3月期第2四半期の決算概要と
   2019年3月期の見通し
   取締役副社長 兼 東邦薬品㈱代表取締役社長　枝廣 弘巳

2. 中期的な収益性向上のための事業戦略
   常務取締役 兼 東邦薬品㈱代表取締役副社長　有働　敦
   取締役 営業担当 兼 東邦薬品㈱専務取締役　馬田　明

3. 医薬品卸の社会的使命を果たすための
   物流イノベーション
   代表取締役会長 CEO　濱田 矩男

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

2019年3月期第2四半期の決算概要と2019年3月期の見通し

取締役副社長 兼
東邦薬品㈱代表取締役社長
枝廣　弘巳

2019年3月期第2四半期決算の概要

・流通改善ガイドラインを遵守した単品単価交渉に努めるとともに、緊急・頻回配送の改善に取り組む

・売上高、営業利益、経常利益、当期純利益（※）の全項目を計画達成

（※）「親会社株主に帰属する当期純利益」を省略して記載しております。

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

東邦HD 連結 P/L

単位：百万円

	2018年3月期2Q		2019年3月期2Q						2019年3月期 通期計画		2Q 進捗率（%）
			計画		実績						
	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	対前同増減率（%）	対計画達成率（%）	金額	売上比（%）	
売　上　高	595,962		579,000		593,635		△0.39	102.53	1,195,000		49.68
売上総利益	53,208	8.93	52,300	9.03	52,383	8.82	△1.55	100.16	108,000	9.04	48.50
販売管理費	47,749	8.01	48,100	8.31	47,578	8.01	△0.36	98.91	95,900	8.03	49.61
営業利益	5,458	0.92	4,200	0.73	4,804	0.81	△11.98	114.38	12,100	1.01	39.70
経常利益	8,408	1.41	7,100	1.23	7,664	1.29	△8.85	107.94	17,700	1.48	43.30
四半期純利益	5,132	0.86	4,200	0.73	4,943	0.83	△3.68	117.69	10,100	0.85	48.94

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

東邦HD 連結 B/S

単位：百万円

	2018年3月期		2019年3月期第2四半期末			主な増減要因
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	増減額	
流動資産	457,724	70.88	461,295	69.68	3,571	現預金19,992増加 売掛金等11,750減少
固定資産	188,075	29.12	200,710	30.32	12,635	投資有価証券13,852増加
資産合計	645,799	100.00	662,005	100.00	16,206	
流動負債	390,827	60.52	377,565	57.03	△13,262	買掛金等9,720減少 未払法人税等3,370減少
固定負債	47,200	7.31	69,085	10.44	21,886	社債18,533増加
負債合計	438,027	67.83	446,650	67.47	8,624	
純資産	207,772	32.17	215,354	32.53	7,582	利益剰余金3,630増加 その他有価証券評価差額金9,821増加 （△）自己株式6,026増加
負債純資産合計	645,799	100.00	662,005	100.00	16,206	

自己資本比率　2018年3月期　32.15 %　2019年3月期第2四半期　32.51 %

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

キャッシュフローの状況

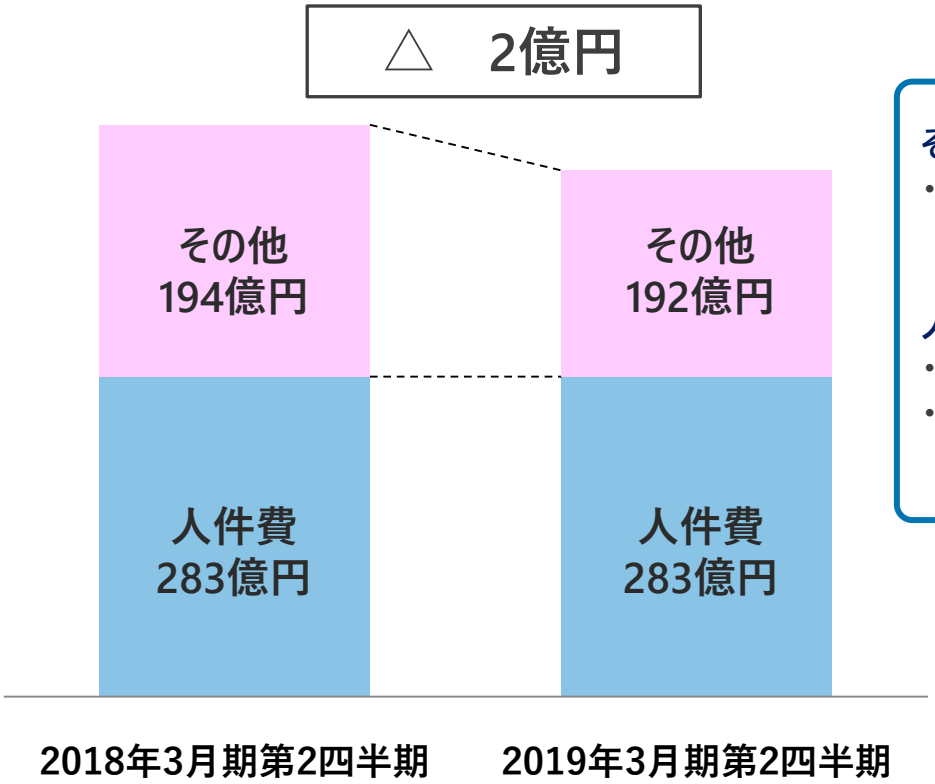
単位：百万円

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2019年3月期第2四半期の主な要因
現金（同等物）の期首残高	27,721	63,671	
営業活動	39,009	11,644	税引前利益7,613 減価償却費2,077 売上債権の減少11,911 仕入債務の減少△9,783
投資活動	△6,576	△2,351	有形固定資産の取得△746 無形固定資産の取得△523 投資有価証券の取得△356 関係会社株式の取得△431
財務活動	1,205	10,123	社債の発行による収入20,100 自己株式の取得△7,377 リース債務の返済△946 配当金の支払△1,027
現金（同等物）の期末残高	61,360	83,662	当期増減額19,991

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

販売管理費の前年同期比分析

【前年同期比】



その他　▲ 2億円
・調剤薬局　▲2億円
（のれん償却▲1.4億、派遣料 ▲0.5億円）

人件費　0億円
・医薬品卸　▲1億円
・調剤薬局　+1億円

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

設備投資と減価償却費

【設備投資】

2019年3月期年間	2019年3月期第2四半期
計画：12,359百万円	実績： 1,068百万円
①広島物流センター 物流設備等 2,667百万円 ②「ダイナベース」内 総合物流センター 物流設備等 4,000百万円 ③医薬品卸営業所 新築移転等 4,381百万円 ④その他 1,311百万円	①広島物流センター 物流設備等 325百万円 ②「ダイナベース」内 総合物流センター 物流設備等 147百万円 ③医薬品卸営業所 新築移転等 109百万円 ④その他 487百万円

【減価償却費】

2019年3月期見込み	2019年3月期第2四半期実績
4,912百万円	2,077百万円

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

新しい高機能物流センター

TBC広島（広島県広島市）

2018年11月稼働

- TBC埼玉で培った自動化のノウハウを活用するとともに、更なる効率性、合理性を追求し、ピースピッキングで90%の自動化を目指す（TBC埼玉68%）
- 得意先別ピッキング、配送
- 中国地方に加え、北九州・四国へも配送

総合物流センター（東京都大田区）

2020年稼働予定

高機能型物流施設ダイナベース　2F～5F
TBC東京・WILL平和島を集約し、医療用医薬品、一般用医薬品、検査薬、医療材料などを総合的に取り扱う基幹センターとして運用

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

医薬品卸売事業 P/L

単位：百万円

	2018年3月期2Q		2019年3月期2Q						2019年3月期 通期計画		2Q 進捗率（%）
			計画		実績						
	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	対前同増減率（%）	対計画達成率（%）	金額	売上比（%）	
売　上　高	570,639		555,000		571,243		0.11	102.93	1,145,000		49.89
売上総利益	36,235	6.35	36,400	6.56	36,744	6.43	1.40	100.95	75,200	6.57	48.86
販売管理費	31,233	5.47	31,600	5.69	31,246	5.47	0.04	98.88	63,200	5.52	49.44
営 業 利 益	5,001	0.88	4,800	0.86	5,498	0.96	9.94	114.54	12,000	1.05	45.82

[ギリアド社C型肝炎治療薬2剤売上]
　2018年3月期第2四半期：　136億円→ 2019年3月期第2四半期：　33億円
[上記以外売上]
　2018年3月期第2四半期：5,570億円→ 2019年3月期第2四半期：5,679億円（+2.0%）

[取扱卸限定品の当社売上高]
　2018年3月期第2四半期：　297億円→ 2019年3月期第2四半期：364億円
（ギリアド社C型肝炎治療薬2剤を除く）

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

カテゴリー別の状況と妥結率

カテゴリー別売上構成比

	2017年4月-2017年9月	2018年4月-2018年9月
	構成比	構成比
新薬創出加算対象品	28.9%	32.8%
特許品・その他	34.1%	36.3%
長期収載品	24.7%	17.3%
GE品	12.3%	13.7%

妥結率

	2014年9月末	2015年3月末	2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末	2017年3月末	2017年9月末	2018年3月末	2018年9月末
金額ベース	92.8%	97.1%	98.2%	99.7%	93.3%	97.2%	98.0%	99.9%	91.7%
軒数ベース	87.4%	97.4%	92.7%	100.0%	79.7%	92.9%	87.9%	100.0%	69.6%

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

調剤薬局事業 P/L

単位：百万円

	2018年3月期2Q		2019年3月期2Q						2019年3月期通期計画		2Q進捗率（%）
			計画		実績						
	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	対前同増減率（%）	対計画達成率（%）	金額	売上比（%）	
売　上　高	48,204		45,500		45,427		△5.76	99.84	93,000		48.85
売上総利益	16,904	35.07	15,800	34.73	15,622	34.39	△7.58	98.87	32,500	34.95	48.07
販売管理費	15,599	32.36	15,300	33.63	15,420	33.94	△1.15	100.78	30,200	32.47	51.06
営 業 利 益	1,305	2.71	500	1.10	201	0.44	△84.60	40.20	2,300	2.47	8.74

■調剤薬局事業子会社店舗数

	連結子会社	非連結子会社	関連会社	合計
東邦ＨＤ傘下	4社　79店舗	7社　51店舗	1社　8店舗	12社 138店舗
ﾌｧｰﾏｸﾗｽﾀｰ傘下	5社 451店舗	15社　69店舗	2社　87店舗	22社 607店舗
合計	9社 530店舗	22社　120店舗	3社　95店舗	34社 745店舗

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

東邦HD連結　2019年3月期見通し

単位：百万円

	2018年3月期実績		2019年3月期			
			計　画		前期比	
	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	増減額	増減率（%）
売　上　高	1,213,342		1,195,000		△18,342	△1.51
売上総利益	114,172	9.41	108,000	9.04	△6,172	△5.41
販売管理費	95,155	7.84	95,900	8.03	745	0.78
営業利益	19,016	1.57	12,100	1.01	△6,916	△36.37
経常利益	25,045	2.06	17,700	1.48	△7,345	△29.33
当期純利益	14,384	1.19	10,100	0.85	△4,284	△29.78

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

医薬品卸売事業　2019年3月期見通し

単位：百万円

	2018年3月期実績		2019年3月期			
			計　画		前期比	
	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	増減額	増減率（%）
売　上　高	1,160,739		1,145,000		△15,739	△1.36
売上総利益	79,575	6.86	75,200	6.57	△4,375	△5.50
販売管理費	62,420	5.38	63,200	5.52	780	1.25
営業利益	17,155	1.48	12,000	1.05	△5,155	△30.05
経常利益	20,870	1.80	15,700	1.37	△5,170	△24.77
当期純利益	13,925	1.20	10,500	0.92	△3,425	△24.60

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

調剤薬局事業　2019年3月期見通し

単位：百万円

	2018年3月期実績		2019年3月期			
			計　画		前期比	
	金額	売上比（%）	金額	売上比（%）	増減額	増減率（%）
売　上　高	98,019		93,000		△5,019	△5.12
売上総利益	34,452	35.15	32,500	34.95	△1,952	△5.67
販売管理費	30,887	31.51	30,200	32.47	△687	△2.22
営業利益	3,564	3.64	2,300	2.47	△1,264	△35.47

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

2023年満期ユーロ円CB発行（2018年6月7日公表）

額面総額：200億円

①「総合物流センター」新設：100億円

② 自己株式取得：100億円

転換価額：3,348円

（発行条件決定日における株価：2,722円、アップ率 23%）

- ゼロクーポン債による低コストでの資金の調達
- 高機能な総合物流センターを建設することで、収益性の向上と得意先の業務効率化を実現するとともに、災害時にも医薬品を安定供給できる体制を構築
- 自己株式を取得することにより自己資本を圧縮し資本効率を改善

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

配当について

【配当に対する考え方】
今後とも、将来の収益基盤の強化と市況変動に備えた内部留保の充実に努めつつ、毎期の業績を勘案しながら柔軟な配当政策を実施する所存です。

	中間	期末	年間
2017年3月期	15円	15円	30円
2018年3月期	15円	15円	30円
2019年3月期予想	15円	15円	30円

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

中期的な収益性向上のための事業戦略

常務取締役 兼 東邦薬品㈱代表取締役副社長
有 働　敦

取締役 営業担当 兼 東邦薬品㈱専務取締役
馬 田　明

中期的な収益性向上のための事業戦略

（1）流通改善への取り組み

（2）社会的要請から外れた緊急配送削減への挑戦

（3）営業体制の強化：北陸東邦

（4）顧客支援システムの更なる拡大

（5）共創未来ファーマ製品の拡充と
ジェネリック医薬品の集約化

（6）調剤薬局事業の機能強化

（7）成長のための新たな取り組みと事業戦略を支えるグループインフラ

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(1)流通改善への取り組み

流通改善ガイドラインの遵守

✓早期妥結と単品単価契約の推進
✓頻繁な価格交渉の改善
✓医薬品の価値を無視した過大な値引き交渉の改善

一品ごとに**「原価意識」**と**「オンコスト」**を意識した粘り強い交渉と価格設定

<u>下期も引き続き流通改善への取り組みを継続</u>

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(2)社会的要請から外れた緊急配送削減への挑戦

自社系列薬局317店舗にて、 ENIF本部システムの処方データを利用した、自動発注(補充)による配送回数削減実験を実施

1週間あたりの配送回数合計

実施前	実施後
3,082回	846回

改善率 73%

317店舗の中で、週1回、週2回配送を実現した店舗は、151店舗（47.6%）

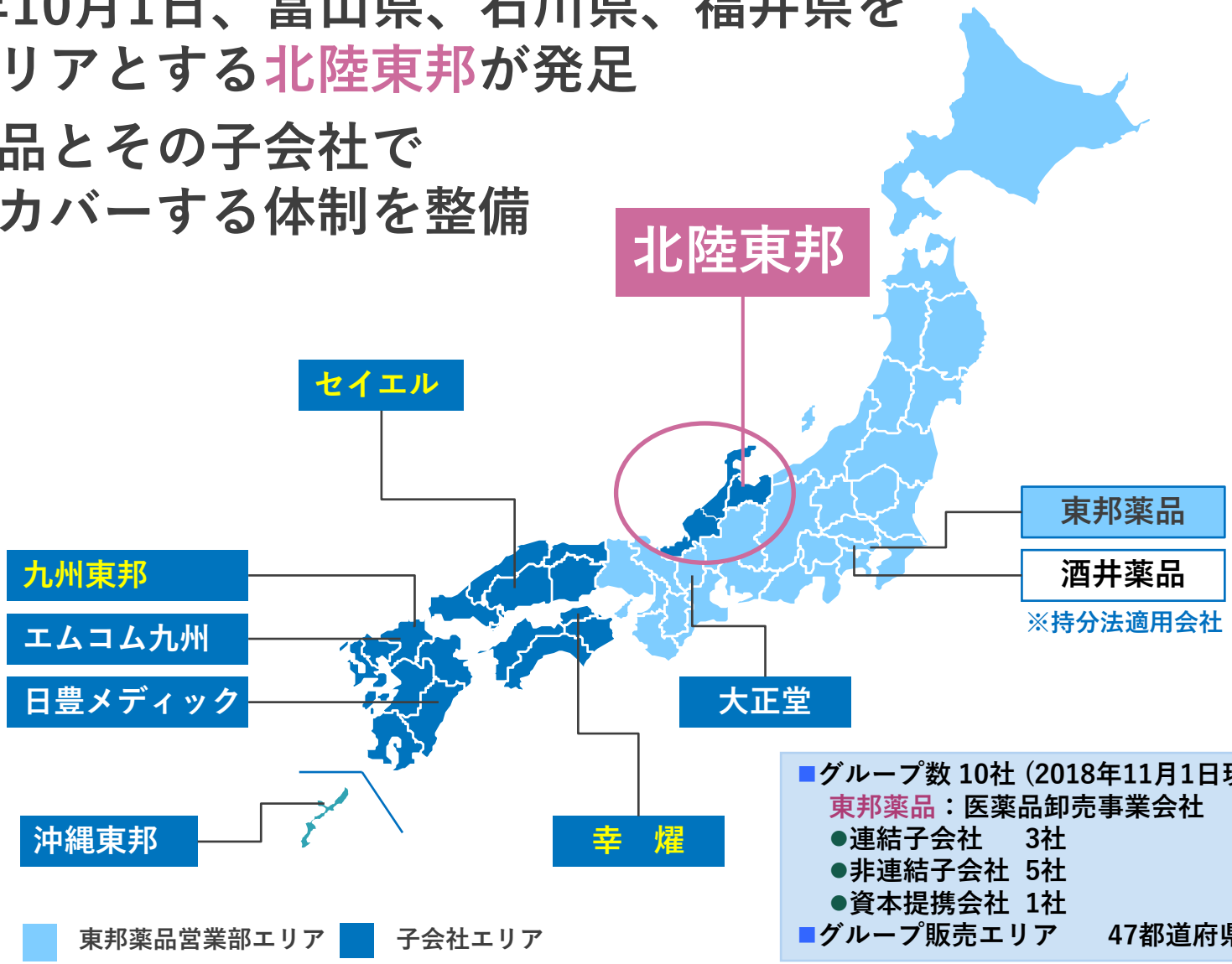
今後は店舗タイプ別（マン・ツーマン、大病院前、モール店舗等）に削減効果を分析し、お得意先への提案につなげていく

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(3)営業体制の強化：北陸東邦

2018年10月1日、富山県、石川県、福井県を
営業エリアとする北陸東邦が発足

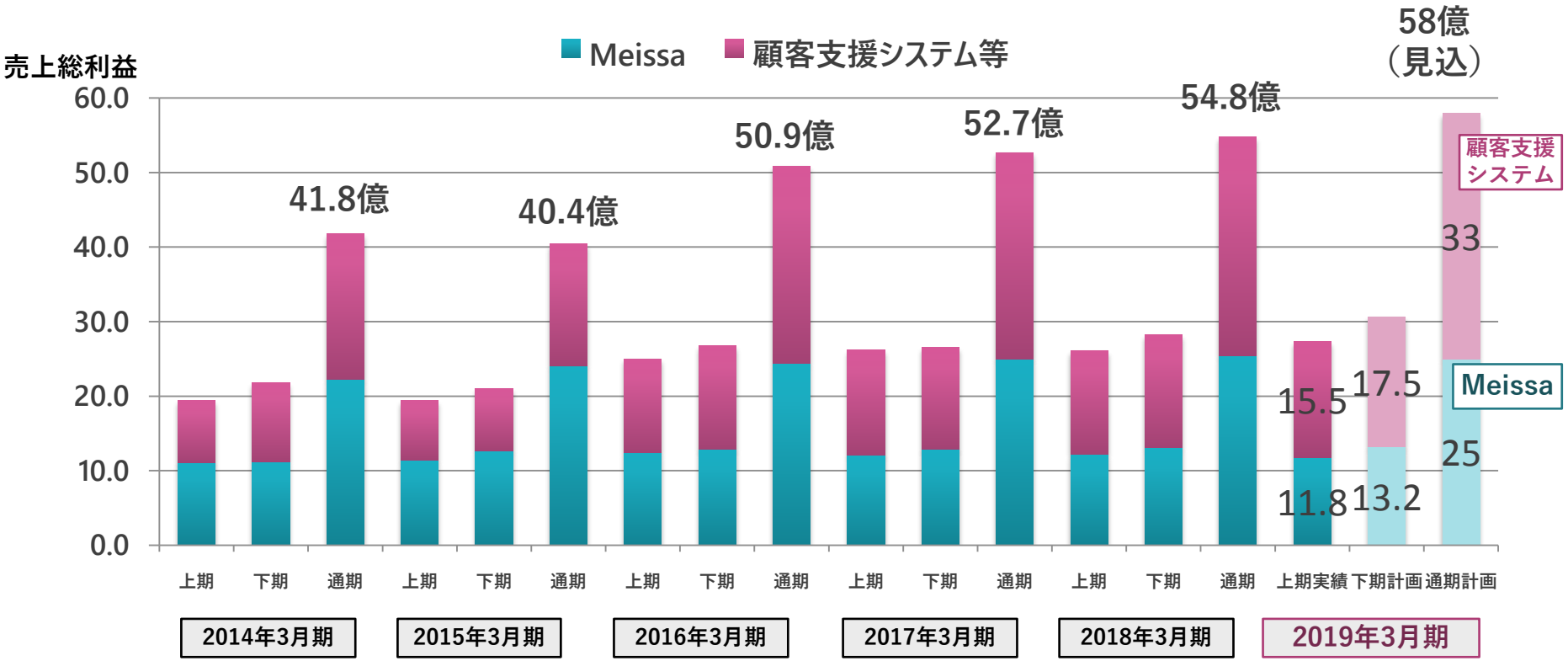
東邦薬品とその子会社で
全国をカバーする体制を整備



■グループ数 10社（2018年11月1日現在）
東邦薬品：医薬品卸売事業会社
●連結子会社　3社
●非連結子会社　5社
●資本提携会社　1社
■グループ販売エリア　47都道府県

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(4)顧客支援システムの更なる拡大



Meissa （MSプロモーションシステム）

【2019年3月期】上期実績：11.8億円 下期計画：13.2億円 通期計画：25.0億円

契約メーカー数： 通期契約 7社　スポット契約 8社（上期）

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(4)顧客支援システムの更なる拡大

主要顧客支援システムの実績

製品名	概　　要	実績（2018年10月末）
ENIFvoice SP/SP+A/Core	2010年リリース（ENIFvoice SP）。 音声入力を導入し、薬局での服薬指導・薬歴作成の効率化やスキルアップを支援。また、ENIFvoice SPの機能を更に進化させたENIFvoice SP+A／ENIFvoice Coreはクラウドサーバを経由して端末間や店舗間でのデータ共有が可能となっている。	販売及び受注台数 9,681台 （前年比1,149台増）
初診受付サービス	2012年リリース。 医療機関のホームページや医療機関検索サイトから初診の患者さんが簡単に診療予約ができる環境を構築。 再診受付や人間ドッグの予約も可能。	契約軒数 9,897軒 （前年比1,228軒増）
病院なび	医療機関検索ポータルサイトで閲覧数No.１。MSが収集した当社独自の詳細なデータを掲載することで、正確性・即時性の高い情報を提供。初診受付サービスとの連動により、医療機関の検索から予約までを完了することができる。	掲載データ：22万軒 訪問回数： 11,558,908回 （10月単月） （前年同月比 60.4万回増）

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

社会的要請に沿ったGE事業の推進

富士フイルムファーマが製造販売元である医療用医薬品26成分、および販売元である医療用医薬品30成分を順次承継

2018年10月現在　34成分74品目

↓

全製品承継後（2019年4月）
73成分156品目

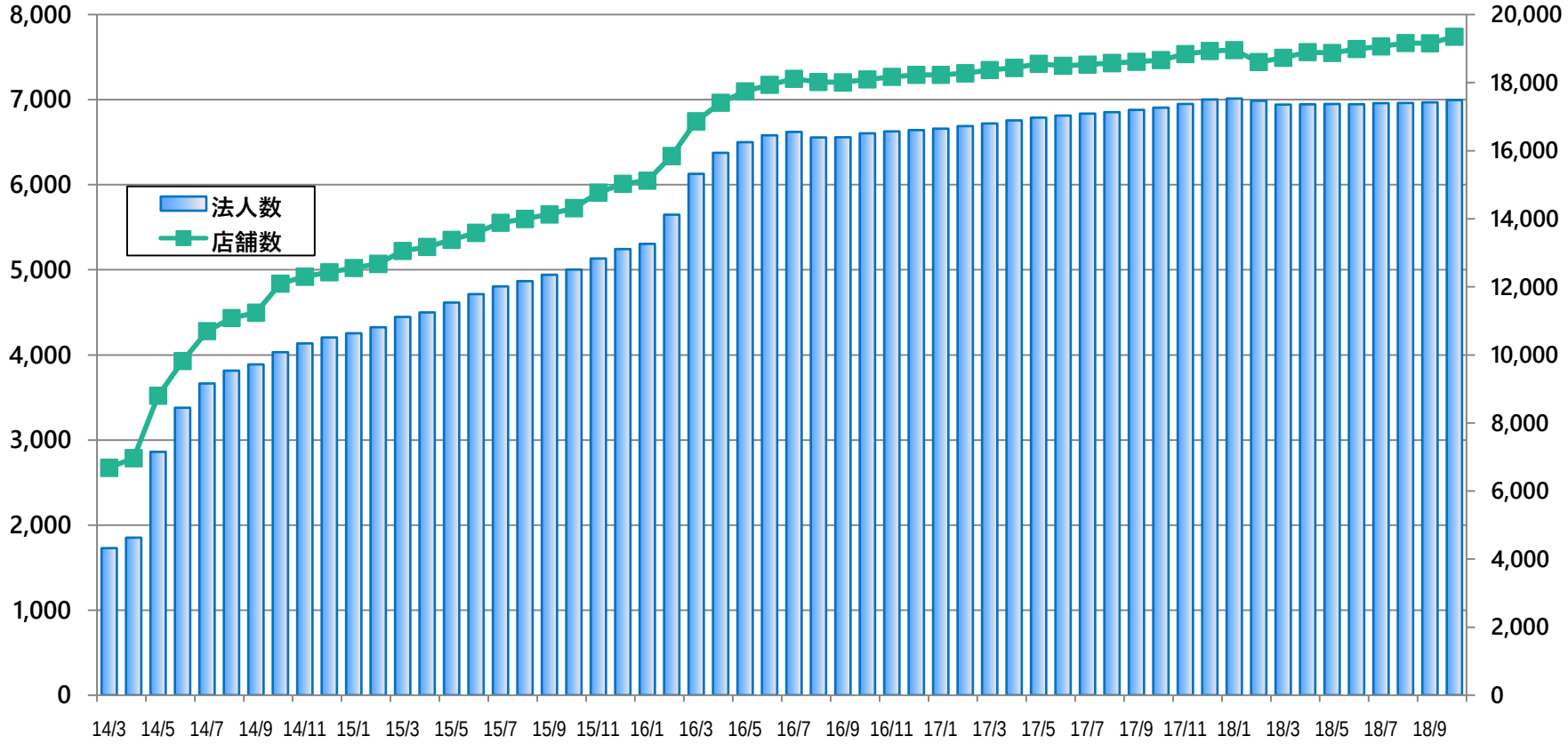
307軒の大病院が共創未来ファーマ製品を採用
（2018年10月末現在）

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(5)共創未来ファーマ製品の拡充とジェネリック医薬品の集約化
：薬局共創未来

会員拡大と関係強化

【会員数】 6,994法人　19,344店舗（2018年10月末現在）

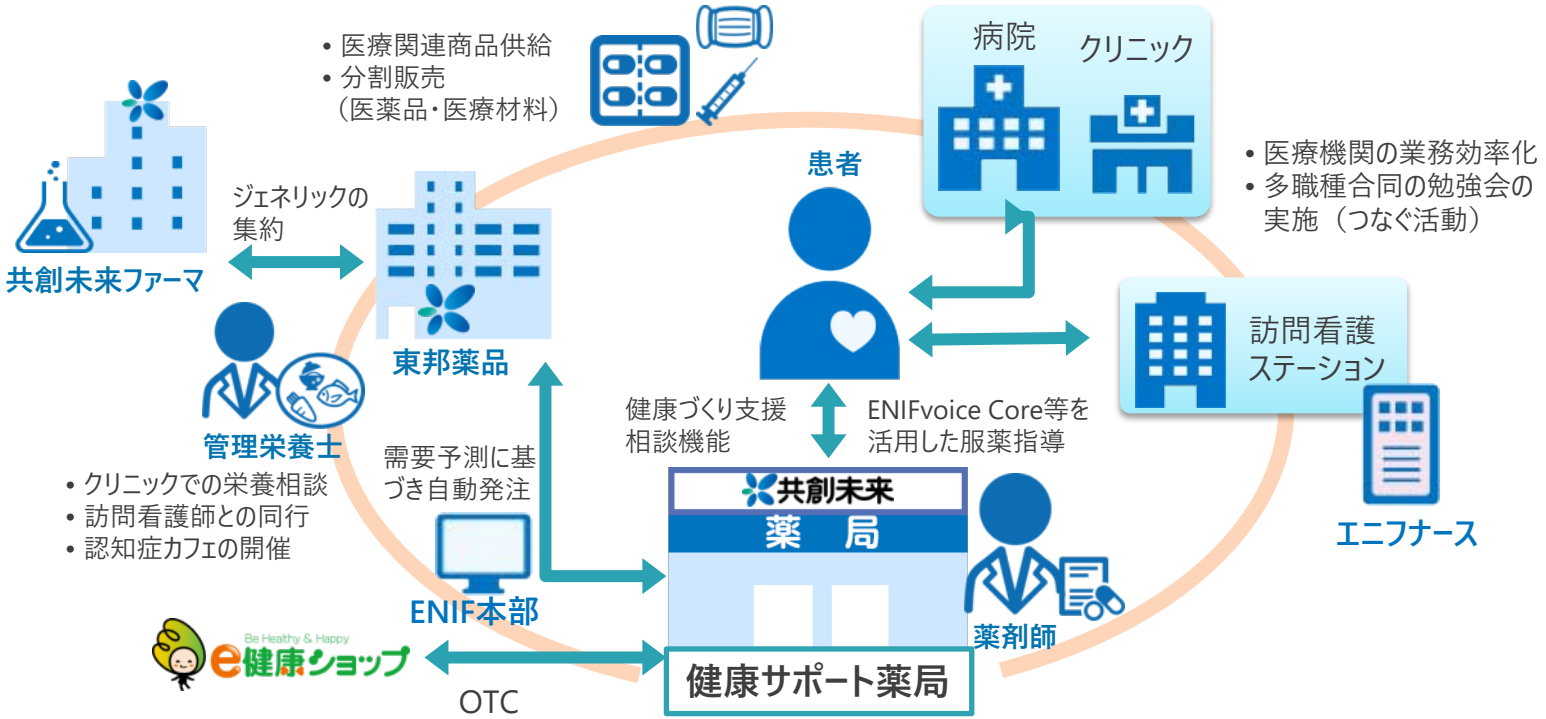


©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(6)調剤薬局事業の機能強化

共創未来グループ全体での取り組みによる地域包括ケアシステム構築への貢献とグループ薬局の機能強化

- 健康サポート薬局（かかりつけ薬剤師・在宅・地域連携・栄養相談）
- 顧客支援システムのフル活用（ENIF本部システム・ENIFvoice Core）
- 店舗サインの統一



顧客システムを活用した業務効率化

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

スズケンとの顧客支援システム等の共同利用

- ✓ 2018年7月24日に基本合意書を締結
- ✓ 当社の在庫管理・受発注・音声による薬歴管理作成システムについて適切な対価をベースにスズケンが共同利用することを許諾
- ✓ 後発医薬品・スペシャリティ医薬品についての新たな流通モデルの共同展開については両社で協議を開始予定

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

ノボ ノルディスク ファーマの血友病Ｂ治療薬「レフィキシア®」の流通を受託

レフィキシア®[一般名：ノナコグ　ベータペゴル（遺伝子組換え）]
血友病Ｂ患者の定期補充療法、出血時治療及び手術時使用のための半減期延長型第IX因子製剤。
ペグ化による作用持続時間の延長を含む血中プロファイルを改善。

搬送装置「サルム(※)」

配送から納品後の医療機関における温度管理が可能

※サルム：ペガサス座にある星の名称で、「高い理想に進むペガサス」
という星言葉から命名

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

(7)成長のための新たな取り組みと事業戦略を支えるグループインフラ

当社の事業戦略を支えるグループインフラ

東邦システムサービス
・基幹システムの開発、運用、管理
・物流システムの開発、運用
・顧客支援システムの開発
・ＭＳ支援システムの関発・運用
・コールセンターシステムの運用

アルフ
・ハンディターミナル、データコレクタ、バーコードリーダー等のスマートデバイスの開発
・診療予約システム、処方箋FAX送信システム等の開発

ネグジット総研
・医業経営コンサルティング
（各種セミナー、 人財育成研修の提供）
・レセプト処理システムを始めとするソフトウェアの開発・販売

ｅヘルスケア
・医療検索サイトの運営
・医療機関・医師に関する情報提供サービス
・医療機関向けホームページ作成・運営

オーファントラストジャパン
・スペシャリティ医薬品関連業務
（流通管理、情報収集・提供、海外におけるスペシャリティ医薬品の流通に関する調査・研究等）

東京臨床薬理研究所
・治験事務局支援
・治験審査委員会事務局支援
・CRC（治験コーディネーター）業務
・被験者募集支援

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

医薬品卸の社会的使命を果たすための物流イノベーション

代表取締役会長 CEO
濱田　矩男

社会的使命を果たすための物流イノベーション

医薬品卸の社会的使命とは

✓高度な物流機能
（正確性、トレーサビリティ、事業継続、品質確保）
✓ＭＳによる得意先への付加価値の提供
✓社会的要請である医療コスト削減への貢献

業界を取り巻く課題

✓不要不急の緊急配送・頻回配送によるサービス競争
✓不十分な災害対策
✓労働力の確保

- **東邦HDの取り組み**
  ロボット等を活用した物流の自動化、NO検品、センター直送、顧客支援システムの開発・提供による得意先の業務効率化、配送回数削減への挑戦
- 業界全体で物流に対する考え方を変え、新しい仕組みを構築していくことができないか。

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

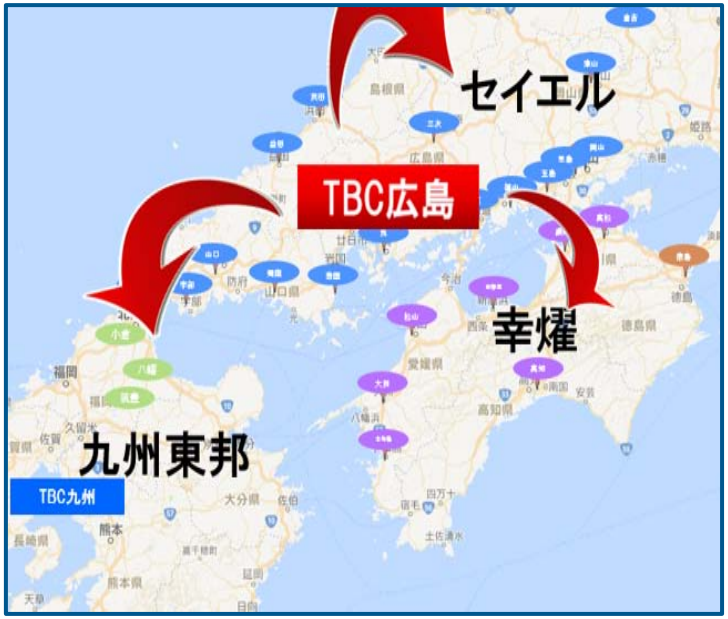
新しい高機能物流センター：TBC広島

■TBC広島の概要

参考：TBC埼玉

敷地面積	9,382坪（31,014㎡）	8,622坪 （28,502㎡）
延床面積	9,589坪（31,700㎡） 地上４階建	10,389坪 （34,344㎡）
取扱分類	医療用医薬品・検査薬 医療機器・医療材料	医療用医薬品等
在庫品目	25,000品目	28,000品目
供給先	セイエル全事業所 幸燿(徳島除く) 九州東邦一部	東京一部･埼玉･茨城･栃木･群馬･千葉一部･ 青森･岩手･秋田･福島
従業員数	92名 (7.5時間換算)	145名

供給エリア



©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

都心に高機能な総合物流センターを建設：ダイナベース

配送の効率化だけでなく
災害時にも医薬品を安定供給する社会的使命

総合物流センター

京浜トラックターミナル内
高機能型物流施設
「ダイナベース」2F～5F

2020年に稼働予定

1. 災害時広域輸送基地

- 環状7号線の内側に唯一存在する大型医薬品物流センター
- 東京都指定の災害時広域輸送基地ならびに国交省指定の広域物資拠点である京浜トラックターミナル「ダイナベース」に設置

2. 自動化の徹底追究

- PIC/S GDP※に準拠した物流体制を確立
- 新センターで競合他社への優位性を実現
- スペシャリティ医薬品への対応

3. 都心の総合物流センター

- 医療用医薬品、検査薬、医療材料を扱う総合物流センター
- 医療関連商品のワンストップ供給拠点
- NO検品や直納便など、顧客の業務効率化に寄与する物流サービスを提供
- 首都圏全体の物流を再構築することでコストの削減

※医薬品査定協定・査察共同スキーム（PIC/S）が定めた保管・配送等の適正流通基準

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

都心に高機能な総合物流センターを建設：ダイナベース

©2018 TOHO HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

全ては健康を願う人々のために

東邦ホールディングス株式会社

【IR担当窓口】広報・IR室
E-mail: info@so.tohoyk.co.jp
http://www.tohohd.co.jp/